

報道関係者各位

平成 24 年 2 月 7 日

森ビル株式会社

**商業施設・ヴィーナスフォートの環境演出照明「空の照明」  
「省エネ・照明デザインアワード <優秀事例賞>」を受賞  
～消費電力 1/10 に抑えながら、環境演出の魅力を向上～**

森ビル株式会社が運営する商業施設「ヴィーナスフォート」(江東区青海)の館内環境演出「空の照明」が、この度、「平成 23 年度 省エネ・照明デザインアワード」(主催:環境省)において<商業・宿泊施設部門 優秀事例賞>を受賞致しました。



2011 年 7 月末に LED 化を実施した「空の照明」 青空バージョン (左) と夕空バージョン (右)

街を散策するテーマパークとしてヨーロッパの街並みを再現した「ヴィーナスフォート」にとって、約 1 時間で 1 日の空の変化を表現する「空の照明」は、欠くことのできない環境演出です。この「空の照明」を、節電や機能性向上を目的に、2011 年 7 月末、完全 LED 化しました。これにより**照明機器自体の消費電力が 1/10 まで削減**されたうえ、照明器具からの発熱量も大幅に低減。結果、**施設全体の消費電力を 10%削減**できました。また、特注の調光制御装置を導入することで、従来 4 パターンで表現していた空の環境演出を 16 パターンで表現することが可能となり、**施設の魅力向上**にもつながっています。こうした点が評価され、「平成 23 年度 省エネ・照明デザインアワード<商業・宿泊施設部門 優秀事例賞>」の受賞に至りました。

【「空の照明」の LED 化概要】

■施工内容:ハロゲン照明器具(650W)1,441 台を LED 照明(55W)1,650 台に変更。

※変色 LED を使用することにより、照明を 16 パターンに変化させて、青空、夕空、夜空などを表現

■交換工事:2011 年 6 月 20 日～7 月 28 日 ※7 月 29 日(金)より全灯 LED 照明で運用開始

■LED 化による省エネ効果:

- ・照明機器の消費電力:(従前)約 937kW →(従後)約 91kW 1/10 に削減
- ・施設全体の消費電力量:照明および空調負荷軽減により 10%低減
- ・施設全体の CO2 削減効果は約 1,100t/年

※省エネ・照明デザインアワードとは

優れた省エネ効果を達成しながらも魅力的な空間を創り出し、電力のピークカットにも貢献する“新たな省エネルギー型の照明デザイン”の普及を目的に、環境省が実施しているアワード。①省エネ型照明の設置効果(温室効果ガス削減寄与度など)、②デザイン性、先進性、独創性、快適性、③モデルとしての再現可能性、地域貢献性、自立性、④実用性・経済性などが評価の対象とされています。

<本件に関するお問い合わせ先>

森ビル株式会社 広報室 田澤、難波

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

## 参考資料 「空の照明」のLED化の特徴

### <省エネルギーへの貢献>

- ・ ハロゲン照明をLED照明化することで、照明機器にかかる消費電力を1/10まで削減。
- ・ ハロゲン照明をLED照明化することで熱負荷軽減にも貢献。施設全体の年間消費電力削減量は10%、CO2削減効果は約1,100t/年になります。
- ・ 以前まで演出上必要となっていた特注耐熱ガラスフィルターの定期交換が不要になりました。

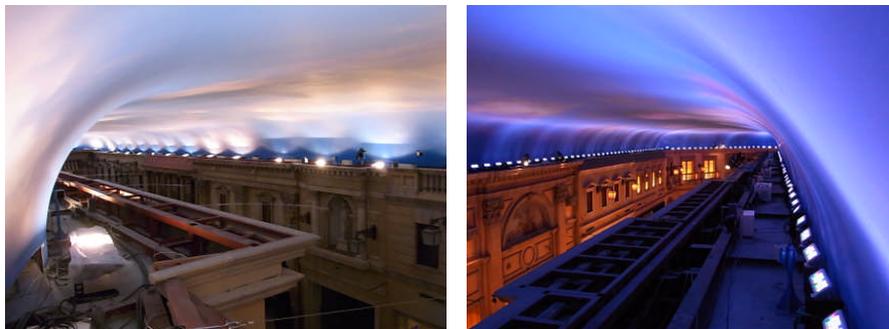
### <クオリティの向上>

- ・ コンピュータ制御による演出は、日本で初めての本格的な天空の演出システム「スカイフィーチャー・プログラム」として1999年の開業当初から導入、今では欠かせない施設の魅力となっています。LED化に合わせ、プログラムシーン設定を従来の4シーンから16シーンまで増やすことで、昼の青空から夕焼けに、そして日没、夜空、朝焼けへ刻々と変化する、より現実感ある時間の変化を再現することが可能になりました。

### <その他>

- ・ 当初、年度内施工を予定していましたが、東日本大震災による電力不足を受け、8月の電力ピークを迎える前に運用開始できるよう前倒して対応しました。
- ・ 都心の既存商業施設において、環境演出の魅力を維持しながら省エネ化を実現する事例を示すことにより、来場者や他の事業者等に省エネ型照明への更新の重要性、有効性の理解を深めることに貢献するとともに省エネ型照明機器の導入契機に繋がると思われます。

ヴィーナスフォートは、東京都「環境確保条例」による温室効果ガスの総量削減義務対象事業所となっており、2010年度実績で削減義務率を超える10%以上の削減を実施しました。今回の導入事例は、その削減状況の中でも適切な設備更新を行うことにより、環境演出の魅力を損なうことなく、更なる削減が可能であることを示す先導的な事例になると考えられます。



改修前(左)と改修後(右)